

先物取引関連不祥事(2018.3～2018.8)

全データ(15件)

番号	当初掲載日	当初報道機関	地域	内容	大分類	分類	備考
1094	2018/3/8	岐阜新聞	岐阜	岐阜県警生活環境課等が、無登録でファンドへの出資を勧誘したとして、金融商品取引法違反の疑いで、ファンド運営会社「RISE(ライズ)」(岐阜市)の社長(55)を逮捕容疑者は「ライズのファンドが法の規制対象ではないと思っていた」と容疑を否認。 岐阜県内の102人を含む16都府県の少なくとも204人と契約を交わし、約37億円を集めたとみられる。容疑者は勧誘を委託した「募集人」を通じて3人と知り合うなどし、「出資した金を使って、外国為替証拠金取引(FX)に運用する。もうけが出たら、1カ月で出資金の2%を配当します」などと説明。3人からいずれも100万円の出資を募ったらしい。3人は3～5回にわたり、約17万9千～約29万6千円の配当を受けていたという。同社は昨年6月に東海財務局から集めた資金の多くを投資に回さなかったなどとして業務改善命令を受け、同9月に業務の廃止などを命じられている。	先物業者の犯罪・不祥事	ファンド商法	RISE
1095	2018/3/16	時事通信	東京	東京都民銀行が、本店コンサルティング事業部の男性行員(33)が、顧客2人から合計1832万円を着服していたと発表。外国為替証拠金取引(FX)の損失穴埋めに流用していたという。15日付で男性行員を懲戒解雇処分とした。警察にも通報している。	先物被害者の犯罪・不祥事	着服	
1096	2018/3/21	北日本新聞	富山	福岡市の調査会社から先物取引の損失回収を持ち掛けられ調査費をだまし取られたとして、富山市の男性がこの会社に約442万円の損害賠償を求める訴訟を富山地裁に起こしたことが分かった。男性の弁護士は「全国に多数の被害者が存在する可能性がある」とし、刑事告訴か被害届の提出を準備中。 訴状によると、男性は1999年ごろに先物取引業者から営業連絡を受け2003年ごろまで取引し、多額の損失を被った。17年5月に調査会社から電話があり「損害を回収できる可能性が高い」と告げられ、県内で調査会社側と面談。「弁護士事務所と提携しており、調査で書類が集まれば弁護士を紹介する」と言われて契約し費用を支払った。その後、繰り返し追加費用を求められた。送られてきた調査報告書は回収の可能性を高めるものではなく、調査費の返還を求めたが応じないという。 原告側は、被告は先物取引業者の顧客名簿を不正に入手し、記者等へ無差別に連絡しているとみられ、個人情報保護法に違反していると主張。弁護士との提携をうたい無資格で法律事務も行っており、弁護士法にも反していると訴えている。	先物業者の犯罪・不祥事	二次被害、非弁提携	
1097	2018/4/27	毎日新聞	愛知	外国為替証拠金取引(FX)による利益などを確定申告せず、所得税約3100万円を脱税したとして、名古屋国税局が、愛知県犬山市にある常満寺の住職(45)を所得税法違反容疑で名古屋地検に告発。 住職は取材に「FXの口座から現金を引き出したことがなく、利益を得た実感がなかったため、申告を先延ばししてしまった。深く反省している」と語った。	先物被害者の犯罪・不祥事	脱税	
1098	2018/5/3	毎日新聞	福岡	北九州市立大の研究機材を巡る業務上横領事件で、福岡県警が、パソコンなどの研究機材を売却したとして、同大准教授(35)を業務上横領容疑で再逮捕。県警によると容疑を認め「先物取引などに使った」と供述している。 逮捕容疑は2015年7月～17年4月、研究用のノートパソコンやカメラレンズ計13点(購入価格約327万円)を市内の質屋に売却し、現金約288万円を得たとしている。 福岡地検小倉支部は、研究機材のカメラセットを50万円で売却したとして、容疑者を業務上横領罪で福岡地裁小倉支部に起訴した。	先物被害者の犯罪・不祥事	着服	

番号	当初掲載日	当初報道機関	地域	内容	大分類	分類	備考
1099	2018/5/10	朝日新聞	群馬	強盗容疑で指名手配されている県警捜査2課の警部補(37)が、外国為替証拠金取引(FX)で、少なくとも数百万円の損失を出していたとみられることが分かった。この損失などによる借金で困窮していたとみられ、動機の一因になった可能性もあるとみて県警が調べている。 容疑者は2日午前2時10分ごろに嬭恋村大笹の商店に侵入。レジにあった現金約1万円とビール券約30枚を盗んで、店の裏口から出たところで巡回中の長野原署員に遭遇し、体当たりするなどして突き飛ばした事後強盗の疑いがある。	先物被害者の 犯罪・不祥事	強盗	
1100	2018/5/17	毎日新聞	東京	警視庁捜査2課が、特殊詐欺グループの「受け子」役とみられる横浜市鶴見区の無職(33)を詐欺容疑で逮捕。詐欺グループは、宅配便の集配のアルバイトをしていた容疑者を使って詐欺金を回収していたとされる。同課は摘発を免れるための新手の手法とみて調べている。 逮捕容疑は、詐欺グループと共謀し1~2月、新潟県の60代の女性に社債購入名目でその電話をかけ、現金計1050万円をだまし取ったとしている。女性には宅配業者を指定し、現金を横浜市内に送らせていた。この住所は実在するが、受け取り主は架空名義だったという。 送付先のエリアでは、容疑者が集配業務のアルバイトをしていた。容疑者は被害者の荷物を送付先に届けずに回収。グループに引き渡していたという。	先物業者の犯 罪・不祥事	劇場型 詐欺商 法	
1101	2018/6/7	中日新聞		警視庁と岩手、神奈川、石川の各県警が、高齢女性から社債購入の手数料名目で現金をだまし取ろうとしたとして、詐欺未遂容疑で東京都板橋区、無職(36)ら男女七人を逮捕。警視庁などは、七人は電話の「かけ子」グループとみており、被害は全国で約四億円に上るとしている。 活動拠点のマンションから「富裕層」とのタイトルがついた高齢女性の約一万五千人分の名簿を押収しており、入手経緯を調べている。	先物業者の犯 罪・不祥事	劇場型 詐欺商 法	
1102	2018/6/8	読売新聞	滋賀	県警生活環境課と近江八幡署が、甲賀市甲南町、外構職人見習い(34)を出資法違反(預かり金の禁止)容疑で逮捕。「金を預かったか覚えていない」と容疑を否認しているという。 容疑者は昨年2月から9月頃までに、元本保証と配当金の支払いを約束し、当時勤めていた会社の同僚男性ら3人から6回にわたって現金計284万円を預かった疑い。 容疑者は「FX取引(外国為替証拠金取引)でもうけている。損しないように運用し、月に3~5%を配当する」などと説明していたが連絡が取れなくなり、被害者が同署に相談した。他にも金を集めていたとみて、詐欺の疑いでも調べる。	先物業者の犯 罪・不祥事	ファン ド商 法	
1103	2018/6/8	時事通信		勤務中に株取引や外国為替証拠金取引(FX)を約2300回行っていたとして、東京国税局が、千葉県内の税務署に勤務する男性国税調査官(35)を減給10分の1(3カ月)の懲戒処分にしたと発表。 調査官は2013年1月~17年7月、庁舎内のトイレや移動中の電車内で、スマートフォンから証券会社のサイトにアクセスし、取引を繰り返していた。未公開情報を使ったインサイダー取引などはなかったという。	先物被害者の 犯罪・不祥事	職務怠 慢	
1104	2018/6/16	中日新聞	東京	警視庁が、詐欺の疑いで、世田谷区、会社役員(39)を逮捕。ニセ電話をする「かけ子」グループのリーダー格。二月に同じグループのかけ子の男六人が詐欺未遂容疑で逮捕された。二課は昨年八月~今年二月、グループが少なくとも全国の二十件、計七千四百万円の被害に関わったとみている。 昨年十~十一月、埼玉県朝霞市の七十代の女性宅に、製菓会社の社員らを装って「社債購入の名義貸しは犯罪になる」と金を要求するニセ電話をかけ、宅配便で九百五十万円を送らせ、だまし取ったとされる。	先物業者の犯 罪・不祥事	劇場型 詐欺商 法	
1105	2018/6/27	朝日新聞	新潟	防水工事会社「モリケン」(新潟市東区)が約6200万円を脱税したとして、関東信越国税局が同社と前社長(52)を法人税法違反容疑で新潟地検に告発。 前社長は2015年9月期までの3年間に、外注加工費を架空計上するなどの方法で約2億4400万円の所得を隠し、脱税した疑いがある。前社長は隠した資金を先物取引などに充てていたという。	先物被害者の 犯罪・不祥事	脱税	

番号	当初掲載日	当初報道機関	地域	内容	大分類	分類	備考
1106	2018/6/29	NHK	東京	三菱UFJモルガン・スタンレー証券が去年、日本国債の先物取引の価格を不正に操作したとして、証券取引等監視委員会が、2億円あまりの課徴金を命じるよう金融庁に勧告。実際の金利にも影響を与える国債の先物取引をめぐって、証券会社が勧告の対象となるのは初めて。 去年8月、日本の長期国債の先物取引市場で実際には売買する意思がないのに大量の注文を出す「見せ玉」(ぎょく)と呼ばれる手口で価格を不正に操作していた。 日本の長期国債の先物取引の取引金額は去年1年間で1200兆円あまりに上り、その価格の動向は、実際の長期国債の金利にも影響を与えるという。	先物業者の犯罪・不祥事	相場操縦	
1107	2018/7/23	NHK	東京	警視庁が、社債の購入をめぐるうその話を持ちかけて、80代の女性から現金100万円をだまし取ったとして、詐欺グループの男3人(無職31他)を逮捕。半年あまりでおよそ1億2000万円をだまし取ったとみられる。 茨城県に住む80代の女性にうその電話をかけ、「ほかの人が社債を買いたがっているのだからあなたの名義を貸してほしい」と持ちかけたうえで、その後、「名義を貸したのは犯罪だ」などと言って、現金100万円をだまし取った。 3人は詐欺の電話をかける、いわゆる「かけ子」とみられ、警視庁が詐欺グループが拠点にしていた杉並区のマンションの1室を捜索したところ、携帯電話や高齢者の名簿およそ3000人分が見つかったという。	先物業者の犯罪・不祥事	劇場型詐欺商法	